

UNION NEWS

https://www.jrtu.jp

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95 (03)6718-1251
JR東海品川にビル6階3F
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部201)組合員の購読料に含む

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典

標準乗数「4」とする定昇確保・純ベア7,000円・ 夏季手当3.0箇月満額・調整手当B級地支給額5,000円引上げ



《回答》

1 令和6年度新賃金

- (1) 定期昇給の **標準乗数は4** とする。
- (2) 35歳ポイントの基本給を **7,000円引き上げる**。
- (3) B級地の調整手当を **15,000円とする**。
- (4) 中央新幹線推進本部リニア開発本部山梨実験センター車両基地に勤務する社員に特地下手として **月額40,000円を支給する**。

2 令和6年度夏季手当

- (1) 支給月数は、**3.0箇月分** とする。
- (2) 支給日は、6月28日以降準備でき次第とする。

《2024春闘で得られた主な成果および確認出来た事項》

- ・リニア開発本部山梨実験センターに勤務手当 10,000円 2024.4~
- ・新幹線運輸系統でのジョブシエアスキームを本施行 2024.5~
- ・名古屋セントラル病院3階病棟への病棟クランク導入 2023.12~
- ・2025(令和7)年度の採用計画を170名増とし、今後の退職者数動向、育休等の見直し、業務改革等の効率化施策、中央新幹線計画の推進に必要な要員等を踏まえた計画として策定
- ・キャリア採用(収益の拡大部署、中央新幹線建設等)を20名程度実施
- ・インターネットメール送信時の箇所長メールアドレス入力を実施 2024.1~
- ・社外への電子ファイル添付によるインターネットメール送信時の箇所長必須基準の見直し 2024.1~
- ・ファイル授受サイト使用時の箇所長承認を不要に変更 2024.1~
- ・業務用スマホの全社的なルールを策定 2024.2~
- ・「e一革新」と連携した安否確認の新システム「セコム安否確認サービス」を導入 2024.4~
- ・2024(令和6)年度の定期健康診断(第1回)の一部会場の回数増や女性健診枠の拡大を確認
- ・健康増進の新しい数値目標による取組み開始 2024.4~
- ・各数値目標の理解を深めるための冊子「Wellness Book2024」を発行
- ・ウェルネスセミナーを各地区で開催。開催内容の動画等は「e-キャビネット」へ掲出
- ・福利厚生代行会社をリworkラフ移行後もTDR、USJ、ナガサミパーランドの利用補助を継続。USJ利用補助のWeb申込に変更
- ・JR東海MARKET内にグループ各社の求人と求職者のマッチング機能を備えた採用サイト「Be Our Crew」を開発 2023.12~

JR東海ユニオンは、3月12日に開催した団体交渉において、左表の回答を会社から引き出した。今春春闘では、「人材こそが最大の財産」との絶対的価値観を礎に、未来を見据えた「人材への投資を掲げ、賃金引き上げを要求の軸として、労働条件や職場環境の改善を図り、高い意欲をもって当社の社会的使命を果たし続けられるよう、将来へ向けた改善を図ることの重要性を主張した。徹底的にこだわってきた純ベアは、「基本給7,000円引き上げ」となった。満額に至らなかったが、運賃への価格転嫁が構造的に難しい鉄道産

業において、組合員の創意工夫で、従来にも増して生産性向上に努めてきたことや、経営体力の再強化の必要性を深く理解したうえで、一人ひとりが知恵を出し、汗をかき実現に向け前進を図ってきたことに対し、会社が、目下の物価高騰を上回る賃金引上げにて応えたものと認識している。

夏季手当は「3.0箇月満額回答」を引き出した。この間磨き上げてきたサービス等の付加価値向上や、日々の弛まぬ安全・安定輸送堅持の取り組み、安全安心な地域医療の提供、中央新幹線建設の推進、事業展開やグループ一体となった収益

力の強化に努めてきたことに対し、会社が2年連続の満額にて応えたものとなる。離職防止に資する調整手当の一律化については、社会変容を背景とした平日輸送等の戻りの鈍さや先行きの不透明さから現状でできる対応として、「B級地支給額5,000円引き上げ」に留まった。他方で、山梨実験センター車両基地への特地下手当拡大や、山梨実験センターの職務手当改善など、大きな前進を確認した。

いずれも、この間の組合員の献身的な取り組み、努力に対し、会社が真摯に受け止め、最大限に応えたものであり、組合員の想いに報いるものと確認し、妥結を判断した。今春春闘交渉の課題と

2024春季生活闘争妥結!

して、物価と賃金の好循環によるステイジの転換がある。世の中の価格転嫁の取り組みから後れを取らぬよう、JR連合と連携し取り組みを進めていく。

労使交渉では、持続可能な賃金引上げのみならず、働き方の改善等、引き続き議論を尽くしていく。そのためにも全員参画のユニオン運動が重要である。今春春闘においても組合員の想いの詰まった「檄」布・色紙・FAX等にて、かつてない規模の叱咤激励を頂いた。各級機関においても労使協議等を精力的に展開し、「ONEチーム」で闘い抜いた。改めて力強く交渉を支えていただいたすべての組合員、関係者に感謝申し上げる。